

議事概要		日時	令和7年6月16日（月）
件名	第4回 牛久シャトー株式会社事業再生計画策定のための有識者会議	場所 時間	牛久市役所本庁舎3階庁議室 14：30～16：00
作成年月日	令和7年6月16日	作成者	飛鳥川
出席者	出席委員（全員出席） 大澤義明委員（座長）、大久保伸隆委員、鷹羽伸一委員、堀 賢介委員、渡辺一洋委員、和田卓也委員（順不同・敬称略） アドバイザー 安蔵正子（ワイナリー経営者）（敬称略） 市出席者 二野屏環境経済部長、藤木環境経済部次長、木本環境経済部参事、吉田未来創造課文化財・シャトー活用推進室長ほか		
	議事内容	(1)財務見通し及び債務償還見通しについて (2)他企業との連携について (3)事業再生計画案（現状及び再生策編）について (4)その他	
会 議 内 容 等			
(1) 財務見通し及び債務償還見通しについて ・資料に沿って事務局より説明 【委員からの主な意見】 ・民間企業の場合は、出資者が会社に対して有する債権は、出資者が整理するのが一般的である。 ・自治体なので、民間企業とは全く同じということもできないのではないか。 ・議会にも説明して実現可能な方法を考えていくべきである。 ・債務超過の状態は、借入ができないので、設備投資資金の調達手段に限られる。また、キャッシュがない場合、給料が払えなくなるなどの、懸念がある。			
(2) 他企業との連携について ・資料に沿って事務局より説明 【委員からの主な意見】 ・指定管理を共同事業体で行う場合は、利益の配分をどうするかが課題である。 ・おそらく指定後しばらくは利益が出ないが、利益が出ない場合にどうするか考えておく必要がある。 ・チャペルやショップ等の改修は事業者でできると思うが、投資の負担について公募提案の中で決めていく必要がある。 ・現在の契約による重要文化財の修理は、所有企業が主体者となり、国と市が補助するかたちとなる。 ・ワインを醸造することも文化として残していくのであれば、行政が負担をしてもいいのではないか。 ・ショップは、レストランなど飲食店とは別になると思うので、シャトー(株)の運営もありえると思う。どの事業を他社が担うかは、公募の提案の中で検討していてもいいのではないか。 ・JVにした場合は、利益の分配などが課題になってくるが、全体的な企画運営に関わってもらうためには、JVがいいのではないか。 (ビール・ワイン事業について) ・ビールの生産量を増やせるのであれば、販路は広げることができる。熱処理していないことをもっとアピールすれば売り上げは伸びると思う。 ・ビールはその場で飲める設備があれば、もっと売れるのではないか。 ・牛久はジョージアや、フランス、キャンティなどの繋がりがある。ワインはストーリーが重要である。			
(3) 事業再生計画案（現状及び再生策編）について ・資料に沿って事務局より説明 【委員からの主な質問・意見】 ・レストランは、フレンチにこだわらなくていいと思う。一般的な洋食が食べたいと思われる。 ・今回の計画は共同事業体のパートナーが決まるまでの暫定となるかと思うので、今回の計画の中にいつま			

でに計画を作るかを記載したほうがよいのではないか。

- ・ショップは直売機能がキーとなる。直売の方法はいろいろな方法があるので検討すべきである。
- ・仮に、今後設備投資等を行う場合は、所有者と協議する必要があるのではないか。
- ・所有企業の理解を得られるのであれば、この計画で進めてもいいと思う。

(4) その他

【今後のスケジュールについて説明】

- ・次回開催日：7月25日 14:30 市役所本庁舎 3 階庁議室